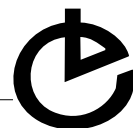


議会だより とくノしま



第 182 号

平成 28 年 2 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



明けましておめでとうございます。本年も「町民のための議会」を目指し、積極的に議会活動を行ってまいります。(議員一同)

第 4 回定例会

12 月 15 日～ 18 日

- | | |
|----------------------------|----|
| ☆ 審議された案件と議決結果、議会の動き | 10 |
| ☆ 一般質問 (11 氏登壇) | 11 |
| ☆ 平成 27 年第 4 回定例会を終えて、編集後記 | 18 |

12 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・専決処分（平成 27 年度一般会計補正予算第 7 号）	承 認
・税条例の一部を改正する条例の一部改正	原 案 可 決
・奄美群島振興開発特別措置法に基づく町税の特別措置に関する条例の一部改正	原 案 可 決
・国民健康保険税条例の一部改正	原 案 可 決
・奨学資金貸与条例の一部改正	原 案 可 決
・奨学基金条例の一部改正	原 案 可 決
・事務の委託に関する天城町との協議について	可 決
・教育委員会委員の任命（安田 司氏）	同 意
・平成 27 年度一般会計補正予算（第 8 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 27 年度水道事業会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・議員派遣の件	原 案 可 決
(陳情)	
・商工会に対する平成 28 年度補助金等に関する要望	継 続 審 査

議会の動き

7 日	7 日	11 月	31 日	30 日	27 日	21 日	20 日	19 日	16 日	9 日	7 日	6 日	1 日	10 月		
典・祝賀会	亀津中学校落成式	自衛隊訓練説明会	国民文化祭	国民文化祭前夜祭	離島議長行政調査 (長崎県対馬市)	三力町議会議員連絡 協議会参加会(伊仙 町)	畑かん営農・経営研 修会(伊仙町)	第 3 回議会だより編 集委員会	徳之島三力町議会議 員連絡協議会奉仕活 動	県産材の利用促進に 関する要望活動	徳之島三力町議会議 員連絡協議会役員会 (伊仙町)	第 2 回議会だより編 集委員会	奄美・やんばる広域 圏交流推進協議会	奄美・やんばる広域 圏交流推進協議会		
25 日	18 日	15 日	11 日	10 日	9 日	3 日	1 日	29 日	24 日	20 日	16 日	15 日	11 日	10 日	8 日	
集委員会	第 1 回議会だより編	第 4 回定例会閉会	議会運営委員会	年末年始安全運動出 発式	地方創生講演会(伊 仙町)	事務局長・職員研修 会(奄美市)	奄美広域事務組合議 会(和泊町)	農林漁業の祭典	東天城地区戦没者合 同慰霊祭	第 32 回町福祉スポ ツ大会	遺族会慰霊祭・総会	国民文化祭グランド フィナーレ(鹿児島 市)	町村議長会全国大会 (東京都)	地方創生講演会(伊 仙町)	離島議長全国大会 (東京都)	関西徳洲会総会・運 動会(尼崎市)

いっばん質問

12月定例会には、11人の議員が登場し、ミカンコミバエ対策、奨学資金制度、住民福祉、北部振興、子育て支援、地方創生など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



テックス板設置のボランティア

ミカンコミバエ対策は

富田 良一 議員



問 ミカンコミバエは、いつでも飛来してくる可能性があり、暖かくなると活動が活発になることが懸念される。気を抜くとなく継続した対策が必要と考えるが、今後どのような対策を考えているか。

と活動が活発になることが懸念される。気を抜くとなく継続した対策が必要と考えるが、今後どのような対策を考えているか。

計画的な防除を行う

答 里内農林水産課長
現在、トラップ調査で誘殺は確認されていない。今後トラップ調査での誘殺、寄生果実の除去、テックス板上設置、誘殺剤の散布、必要に応じたヘリコプターによる航空防除などを計画的に行い、早期撲滅に努めたい。

つなげ亀津・南原

問 亀津・南原畑総地区は、奥名川まで広い道ができていて利用者も多

答 麓建設課長
防炎面から計画するとなれば、この道路の町道認定が必要になる。その後、防災道路として計画できないか県と協議していきたい。

町道認定後に 県と協議

い。畑地帯総合整備事業で橋の建設ができなければ、防災の面からも他の事業で進めるべきだと思っが、どのように考えているか。

やむを得ず 建設断念

答 深水耕地課長
県営畑総整備事業亀津地区において、基幹農道と農地区画整理を一体的に整備する計画であったが、用地買収や未同意、筆界未定等の問題から変更計画、受益者同意のもとやむを得ず建設を断念した。

建設断念

「お金がない」奨学資金制度

幸 千恵子 議員



問 奨学資金制度の種類と活用・対応状況は、どうなっているか。制度を利用したいと窓口で相談すると「今、お金がない」と言われる。基金など資金状況はどうなっているか。また、来年度以降の予算計上は。

基金を積み増し 啓発に努める

答 向井学校教育課長
奨学金は、※一般奨学金と※特別奨学金の2種類がある。現在借入れがない状況なので、今後啓発活動に努めたい。基金については、財政と協議し必要な額を積み増したい。

8人に月額4万円

答 東介護福祉課長
本町には看護職員等奨学資金がある。現在8人に、月額4万円貸与している。補正予算を組み基金を積み増しするなど、資金状況は厳しい。

※一般奨学金とは、月額1万円で高校生が対象。
※特別奨学金とは、大学生が対象。医学・歯学部が月額15万円、農林水産学部・農業大学校が月額2万円。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

奨学資金制度で 保育士確保を

問

保育園の待機児童の状況は。保育園においては「保育士確保が一番大変で厳しい。奨学生制度ができれば大歓迎」と言つた。保育士の奨学生制度が必要と考えるがどうか。また、保育士の給料面の改善はできないか。

制度設計は検討課題

答

東介護福祉課長
待機児童の状況は、4月4人、5月5人、6月7人、7月9人、8月12人、9月14人、10月17人となっている。

奨学資金の制度設計は、国・県の動向を注視しながら検討したい。

関係者の意見を 反映したい

高岡町長

答
保育士の確保は、優先的に潜在保育士の掘り起



先生大好き、一緒に走ろう

医療費無料化は 小卒まで

高岡町長

問
子どもの医療費は、全国的に中学卒業ま

こしが大事であり、保育士不足の原因は労働条件だと考える。産婦人科医と同様に保育士についても、^{補填}をしたいと考え、関係者と意見交換を行っている。

待機児童問題は、今後関係者と意見交換をしながら対策を考えたい。

調査・検討が必要

答
高岡町長

で無料化が大勢。助成枠拡大で全体の医療費が抑えられた例がある。子育て支援を進めることで住みやすい町になる。小学校卒業までの医療費無料化を実現できないか。

国・県の制度に準じている。

以前より医療費無料化について調査しているが、医療費の増大と、病気の予防を怠ったり、ちよつとした病気でも病院に行つてしまふ問題を抱える。今後さらに調査し検討したい。

その他の質問

- ミカンコバエ対策について
- 道路管理について
- 職員採用について
- 選挙でルール違反の駐在員への対応について

海の玄関に花を咲かそう

宮之原 順子 議員



問

海の表玄関である龜徳新港の記念植樹帯は、管理の行き届いていない区画が多い。きちんと管理し、観光客や島民が感動

適正な管理 呼びかけを

答
住田企画課長

龜徳新港を利用する多くの方が注目する場所であるため、各区画管理者に

できる花のある場所にできないか。



ここにもっと花を咲かそう

いま一度適正な管理を呼びかけていく。管理を続けていく意思がない方の区画は、管理希望者を募集していきたい。

泊駐車規制は 時期限定

問

空港に泊駐車ができません。利用者は大変困っている。盆と正月以外は、かなり空いているので、泊駐車の規制は利用の多い時期に限定できないか。または安くで利用できる有料駐車場設置等の要望はできないか。

空港管理事務所へ 要望

答
住田企画課長

空港管理事務所の「徳之島空港利用促進協議会」や「徳之島空港保安委員会」といった会を利用し、要望していく。

新港待合所 トイレの洋式化を

問 亀徳新港待合所の1階トイレは、和式で多くの方が不便を来している。生活様式も変わり、ほとんどの家庭が洋式トイレである。高齢者も多く利用するので、県にトイレの洋式化を要望できないか。

具体的な 計画はない

答 麓建設課長
県によると、県管理の旅客待合所は、施設損傷の修繕及び改修を優先して行っており、トイレの洋式化は現在のところ、具体的な計画はないとのことだ。

保育所の休日開園を

是枝 孝太郎 議員



問 公立保育所の状況について伺う。

- ① 保育士と園児の対比は。
- ② 保育士の給与設定は。
- ③ 土日・祝祭日の開園はできないか。
- ④ 年齢、カロリー別の給食費の設定はできないか。

子ども・子育て 会議で検討

答 東介護福祉課長

- ① 保育士は0歳児3人に1人、1〜2歳児6人に1人、3歳児20人に1人、4〜5歳児30人に1人。
- ② 臨時職員は、有資格者が6000円、無資格者が5800円。

学校給食運営 委員会で協議

答 向井学校教育課長

- ① 給食は、低・中・高学年で摂取基準が異なっているが、給食費の設定は、食べる量ではなく給食を作る手間として考えている。

この問題は学校給食運営委員会で協議したい。

啓発と 協力依頼を

答 秋武教育長

- ② 義務教育に関する

権利や義務に係る法令等について、家庭教育学級やPTA総会等で啓発していきたい。

③ 町の体育行事への参加、スポーツ少年団への関わりなど、多くの教員が協力しているが、さらに勧めていきたい。

女性の 活躍の場を

問 地域経済活性化につながる女性の雇用の充実と、活躍の場の提供はどうなっているのか伺う。

この問題は学校給食運営委員会で協議したい。

働きやすい 環境整備を

答 住田企画課長

仕事と子育て等との両立支援にとどまらず、管理・指導的立場への登用や、女性の就業等チャレンジを支援する仕組みづくりが必要である。

その他の質問

- 農業振興について
- 財産管理について

定例会の様子をインターネットで ご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 82-1111 (内線 331 番)



家庭教育学級生によるワークショップ

地方創生は北部地区から

田袋 徹二 議員



問 北部地区は※「産学官金労言」による地方創生戦略会議を組織し、地域一体となつて北部振興に取り組みむべきと思うが。

※産学官金労言とは、産業界、教育機関、行政機関、金融機関、労働団体、マスコミのことである。

「新たな組織」で

答 保岡花徳支所長補佐

地方創生事業等における北部振興は、事業を持続可能なものにするため「新たな組織」づくりが必要。本年度に準備委員会を立ち上げ、「新たな組織」

の構成や組織の在り方を協議したい。

東天城中学校の 早急な整備を

問 「学校再編計画委員会」の経過と結果を示せ。また、東天城中学校の早急な整備を望むが、いつ頃着手する予定なのか。

答申に含め 総合的に協議

答 向井学校教育課長

学校再編計画委員会から「小学校2校、中学校1校、その他は小中一貫校1校に統合」という答申が出された。この答申を受け、学校再編検討委員会で答申案（東天城中学校含む）を再検討する。また、統廃合で廃校予定の学校の跡地利用などさまざまな問題を総合的に協議していく。

急げ消防車入れ替え

問 町消防団、母間分団（大当班）に配備されている消防車（ポンプ車）は、かなり年数が経過しており故障が多い。早急な入れ替えが必要であるか。

平成28年度に配備

答 岡元総務課長

母間分団の消防車は、登録から31年が経過しており、車両の老朽化が認められる。また、亀津からの距離を考えると、東天城地区にも最新鋭の消防車が必要なので、28年度中に配備予定である。



恒例の出初め式

「人生最後の道」の整備を

勇元 勝雄 議員



問 火葬場への道路は、人生最後に通る道であるが、幅員が狭く非常に危険。利用する全島民の安全のため、植物工場横の道路140〜150mの改良とし尿処理場の横から道路の新設はできないか。

用地問題解決後に 整備計画

答 麓建設課長

現在、現地を確認し土地の所有者等も調査している。今後、用地問題等が解決すれば、道路整備の総合整備計画に載せ、財政とも協議しながら整備計画を進めていきたい。

36人の採用による 町財政への影響は

問 前回の定例会で町長から「職員の数、町民60人に対し一人」という答弁があったが、36人の職員採用によって今後、町財政にどのような影響があると思うか。

大きな影響はない

答 岡元総務課長



危険な丹向川

生命と財産を守る 河川改良を

問 町民の生命と財産を守るため、丹向川は補助事業で抜本的な改良を。

案川は、根石が浮いている所があるが、下流まで底板コンクリートを打てないか。

大きな影響はないと考える。今後、彼らが職務以外にも、各集落行事や伝統文化の伝承・活性化等に果たす役割は、人件費以上に大きな効果がある。今後も、財政シミュレーションに基づき協議を重ねて、効果的な財政運営に努めていく。

小郷川は、橋の手前から県道を横断して水路のバイパス設置はできないか。

雨水計画策定後に

検討

答 麓建設課長
今年度、亀津・亀徳地区市街地の雨水計画を策定予定。その調査結果により、丹向川の現状を把握し、県と協議・検討したい。

案川は、下流39㍍を原材料で災害工事と一緒に対応する計画である。

バイパス設置は 難しい

答 深水耕地課長
小郷川は、県道下に地下排水溝の敷設が必要で、県と協議し許可が必要。

また、県道下には神嶺ダムのパイプライン、町の配水管等が敷設されているため、敷設替え等に多額の予算が必要で、バイパス設置対応は難しいと考える。

その他の質問

○災害時の避難道路の整備状況について

○グリーンベルト、児童公園の整備について

○観光地及び公衆トイレの洋式化について

○学芸員の配置について

○人札について

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局 ☎ 82-1111 (内線 331 番)

「遅れている」農道整備

保岡 盛寿 議員



多面的支払交付金 事業を活用

答 深水耕地課長
花徳地区の進捗率は50・2%、距離1万4508㍍、母間地区66・5%、距離4489㍍で、花徳地区の農道は距離が長い。

問 花徳地区の農道整備は、かなり遅れていると多くの住民から指摘がある。花徳地区の整備の進捗状況と、年次的な整備計画を伺う。

整備は、多面的支払交



整備を待つ花徳地区農道

付金事業の範囲内で条件が合えば進めていきたい。

受託団体の 育成を

問 サトウキビの単収向上対策として、適期肥培管理が重要であると考

える。そのためには、管理作業を請け負う受託団体の育成が急務だと思いが、どう考えるか。

単収向上に 必要不可欠

答 里内農林水産課長
ハーベスター収穫率が95%を超えるなか、管理作業組織の育成は急務と考える。

これは「徳之島さとうきび生産対策本部」でも、単収向上には必要不可欠な課題としている。他の営農集団との組み合わせ等議論を重ねたい。

農家への 利益還元を

問 輸送コスト軽減事業の対象団体は、農協のほか民間集出荷業者があるが、民間業者への事業導入実績はどうなっているか。

また、農家への利益還元について業者への指導をどう行うか。

軽減事業で 生産基盤強化

答 里内農林水産課長
平成27年度から年3回の概算払いを行っている。全体で5団体約3500万円で、民間が3団体約840万円。対象団体は、軽減事業で得た利益で、その組合員や構成員の負担軽減、生産基盤の強化に取り組むこととなっている。

課名の見直しを

松田 太志 議員



問

「介護福祉課」という課名から子ども福祉の窓口であるとはイメージしにくい。課名の見直しを行ってはどうか。

また、課として町民の子育て意識の向上のため今後どのような取り組み、工夫を行っていくのか。

実現したい

答

高岡町長
介護福祉課の業務は、子ども福祉も含んでいる。課名の変更には条例の改正が必要で、早急に実現したい。

ネットワークの構築で支援

答

東介護福祉課長
関係機関とネットワークを構築し、地域との相互協力を行い子育て支援に取り組む課としての環境づくりに取り組んでいきたい。また、身近に感じられる看板（課名含む）の設置もしたい。



親しまれる課名に

通学路に

街灯を

問

徳之島高校から金城商店までの道路には街灯が設置されていない。安全確保のために街灯の設置ができないか伺う。

今年度中の

設置を協議

答

岡元総務課長
この区間には、防犯灯が必要である。何灯必要なのかも含めて、東区・北区の駐在員、担当職員等関係者にも夜間の立ち会いをお願いし、今年度中の設置を協議していく。

慰霊碑周辺の

環境整備を

問

北部振興の意味も含め、山集落の自衛隊慰霊碑周辺の環境整備が必要と思うが、見解を伺う。

検討したい

答

保岡花徳支所長補佐
自衛隊慰霊碑周辺の環境整備は、土地の問題や

地区担当職員の配置を

行沢 弘栄 議員



問

住民参加型のまちづくりへ、地区担当職員を配置し地区内の状況を把握するとともに、地域提案型を取り入れ、要望・意見等を町政へ反映させることはできないか。

早い時期に配置

答

岡元総務課長
職員も地域活性化の

海岸沿いの環境面への配慮など検討課題は多いが、集落座談会において、慰霊碑周辺の利活用など地元住民の意見を踏まえ、さまざまな角度から検討したい。

提案の場を設置

答

住田企画課長
まちの活性化には、職員からの企画・提案が必要。徳之島町創生総合戦略の推進の面からも、提案の場を設置したい。

アイデア提案

の機会を

問

地域活性化には、人材が必要。長期的な人づくりの観点から、職員からのアイデア等が提案できる機会を設け、町政に反映できているか伺う。



研修で資質向上を

徳之島にも LCC の恩恵を



奄美群島全体を捉えた LCC ダイア調整を

鶴野 将光 議員

問

現在、奄美着パニラエアから各離島への JAC 便乗り継ぎができない。LCC 就航に伴う経済波及効果を、奄美群島全体へ浸透させていくために、運行ダイヤの調整を要望していくべきではないか。

関係機関団体に

よる要望を

答

住田企画課長
徳之島 3 町ほか関係機関団体による「徳之島空港利用促進協議会」を通じて、乗り継ぎに係る時間調整や徳之島空港への LCC 誘致活動について要望を検討していく。

ダイヤ調整は厳しい

高岡町長

答

現在、奄美にはパニラ航空が就航しているが、JAC とは会社の系列が違う。両社の連携は厳しいと考えるが、ダイヤ調整の要望をしていくことが大事だ。

医療旅費の助成を

問

島内の医療機関での治療が難しく、島外の医療機関で治療を受けなければならぬ場合、経済的負担の軽減、医療格差の縮小の観点から、同家族を含めた医療旅費の助成をしていくべきではないか。

調査し検討したい

答

高岡町長

島内で治療ができないとなれば、必要な事業であると考える。今後、調査し検討したい。

助成率アップを

福岡 兵八郎 議員



問

農家は自然災害や病虫害で四苦八苦している。キビの※プリンスベイドが 3971 円と高いため現在の助成 30% を 40% に。果樹のカミキリ虫対策の※バイオリサ・カミキリスリムの助成を現在 30 円を 50 円に。生姜研究会が団体で※ JGAP 取得は、国内第 1 号である。台風対策にネット資材の 50% 助成を求めると。



防風ネットで生姜の単収アップを

助成予算獲得へ

里内農林水産課長

答

プリンスベイドは価格が高いが効果はあるため、来年度は町糖業振興会の事業で計画中である。バイオリサ・カミキリスリムは、ゴマダラカミキリ駆除に効果があるため、助成したい。生姜研究会は、JGAP 取得で、今後期待できることから助成も考えた。

松枯れ対策は

問

松枯れは、昆虫（マツノマダラカミキリムシ）と線虫（マツノザイセンチュウ）の共同で引き起こす病気だが、個人の屋敷内の松枯れ被害についても、防災面から対策を求めると。

※プリンスベイドとは、ハリガネムシ類の幼虫を誘殺する殺虫剤。

※バイオリサ・カミキリスリムとは、カビを有効成分とするカミキリムシ防除のための微生物。

※ JGAP とは、農産物の生産において食品の安全性を確保するための日本版の認証制度のこと。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

森林簿記載箇所

なら対応

答 里内農林水産課長
松くい虫被害は、轟

木から井之川地区にかけて多く出ている。全量駆除は困難なため、蔓延抑制策として松くい虫伐倒駆除事業を行っている。この事業対象箇所は森林簿記載箇所のため、記載箇所であれば事業予算内で対応したい。

現地を見て判断

答 岡元総務課長
松くい虫伐倒駆除事

業や里山林機能回復事業で対処できない場合は、防災面で処理できないか、現地

次回の定例会は3月です

みんなで議事を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)



議会傍聴の様子

を見た上で判断したい。

轟木く松原線

拡幅整備を

問 轟木く松原線は、通勤・生活・産業道路

として利用者は多いが、道幅が狭く危険であるため早急な対策を求める。

部分改良を

県に要望

答 麓建設課長

県は、抜本的な全面改良工事は早急には難しいが、カーブや離合等のための部分的な改良は検討していきたいとのこと。今後も強く県へ要望していきたい。

平成27年第4回定例会を終えて

議長 木原 良治

議会は、毎年3月(予算審議)、6月、9月(決算審査)、12月と年4回定例会が開会される。

12月議会は、執行部と議員の議会活動における1年間の総括として、その結果と効果を再認識する。そして、新年度予算に向けて各種要望等が提案される議会ともなる。

目指しているというものである。去る1月28、29、30日の3日間で議会基本条例(案)の住民説明会を開催し、各地区において町民の皆様の意見を伺った。

今後は2月のパブリックコメント(意見公募)を経て、第1回定例会(3月)において制定、4月1日施行の予定である。

12月議会では、11人の議員が一般質問に登壇し、町政全般にわたって活発な議論がなされた。議会は町民の方にどう評価されているのか、またどのように評価されるべきなのか。議会の資質向上を図るべきというご指摘は議会全体として認識している。

この議会基本条例が施行されることにより、議員と執行部または、議員同士の議論が今まで以上に深まり、議会報告会を行うことで町民の方にとつても「開かれた身近な議会」として関心を持っていただけることだろう。

その一歩として現在、議会基本条例を制定するための特別委員会を設置し、協議中である。「開かれた議会」、「わかりやすい議会」を第一の目的に、議員のスキルアップ(資質向上)を

本年は本町の議会改革を積極的にを行い、町政の発展へとつなげていきたい。

編集 後記

新年明けましておめでとうございます。平成28

年の現在において、ロボット産業の技術革新は目まぐるしく加速し続け、ロボットと人間の共存社会への期待も大きく膨らんでいます。そこで、例えば役場の業務をロボットが担うようになればどうなるのであるうか、皆様と想像を共有してみたいと思います。

まず、ロボットは電気さえ供給すれば24時間働き続けます。住民は、町への意見・要望をメールするだけでロボットが即座に対応します。そしてロボットは全ての資格に対応できますので、例えば不動産鑑定士機能を作動させ、土地の適正価格を正確に鑑定します。

指名しません。そして、ロボットが職員であり、半永久的に働き続けますので大量にロボットを採用する必要はありません。こうなると、もはや町長もいりません。町の方向性はロボットが的確に判断し、合理的に行政運営していく。やることなすこと全て完璧でありますので、もちろん我々議員もいらない。ロボットは常に公平に住民にチャンスを与えます。なぜなら、ロボットを開発した住民は、ロボットに「欲」をインプットしなかつたので、究極にクリアなガラス張りの政治ができます。

何十年先のロボットは、膨大なマーケティングデータがインプットされているのでこの島の特産品や加工品を驚くような方法で人気商品にしてしまうかもしれません。入札ロボットは、入札の公平・公正、発注者保護の原則で、無許可業者を

しかし残念なことに、あるいは幸いにも、そこまでの性能を持ったロボットの開発は、まだまだ先の話になりそうでありますので、我々議員と行政が住民あつての職業であることを深く認識し、住民の皆様と共に心の通ったまちづくりをしていかなければならないと考えます。

本年も住民の皆様より、ご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

文責 鶴野 将光